

＼ 海女の愛ちゃんが湯く！ ／

サステナブルツーリズム編

鳥羽国際ホテル 潮路亭の巻

こんにちは、海女の愛ちゃんです。

皆さんは雨の日でも紫外線が降り注がれていることをご存知でしたか？私はつい最近知りました（笑）日焼け止めに関する化粧品会社のネット情報によると、天気によって紫外線量は異なり、雨の日は快晴の日の 30%前後の紫外線量があるそうです。どおりで私の肌が日に日にチョコレート色に近づいてきているわけです。家の中のカビ対策は念入りにしますが、日焼け対策は油断していました（笑）



さて、サステナブルツーリズム編第4回目の訪問先は「鳥羽国際ホテル 潮路亭」です。6月上旬としては珍しく台風がやってきたりしましたが、ホテルの前では色とりどりの紫陽花が綺麗に咲き誇り私達を出迎えてくれました。鳥羽国際ホテルは、2021年12月に続き2回目の登場です。今回は優しいお人柄の惣明福德総支配人に、ホテルでのいろいろなSDGsの取り組みについてお話を伺ってきました。

従業員全員が「自分ゴトとして考える」 SDGs アイデアコンテストを開催

アイデアコンテスト
から誕生！
チーズケーキの切れ端を
活用した商品



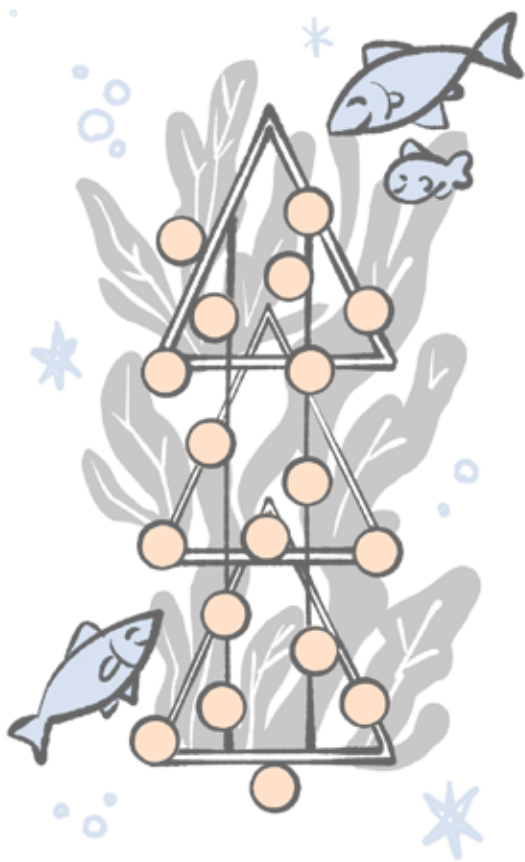
2019年秋、SDGs勉強会を開催し「みんなでできることからやってみよう！」ということで様々なチャレンジを開始しました。ちょうど全国的な新型コロナウイルス感染症拡大で休館となり、従業員の仕事が無くなったタイミングでした。コロナ禍でも、何かできることがないかと、SDGsの目標の中で自分たちには何ができるのかについて、みんなで話し合った結果、翌年の1月には「12. つくる責任つかう責任」「14. 海の豊かさを守ろう」「15. 陸の豊かさを守ろう」についての取り組みを始めることにしました。

そして6月には、伊勢志摩リゾートマネジメントが運営する鳥羽国際ホテル、潮路亭、NEMU RESORT、NEMU GOLF CLUBの従業員が参加し、「SDGs アイデアコンテスト」を開催しました。

そのコンテストからは、ホテルのチーズケーキの切れ端をリメイクしたチーズケーキロールやパウンドケーキ、シュクレフロマージュが生まれました。ここのチーズケーキは半世紀以上の歴史が有り年間約1万個を販売していますが、これだけの量のチーズケーキを焼くと、一定の割合で焼きムラの発生や亀裂が入ることがあり、そうなったものは全て廃棄してきました。しかし、従業員のアイデアのおかげで新たな人気商品が生まれ、切れ端の廃棄がなくなったそうです。



新しく生まれた
商品たち



海の恵み、環境保全を守る支援活動として、 お客様と共同で行う藻場再生活動 『クリスマスチャリティツリー』を開催

藻場が減少していることをお客様に知っていただき、お客様と共同でサステナブルな取り組みを行いたいと考え、藻場再生のためのチャリティーイベントを開催しました。

お客様にクリスマスツリーに装飾するオーナメントを購入してもらい、その収益金の一部を、漁業者による海の植林活動等の支援を行っている一般社団法人海っ子の森（津市）へ寄付をし、鳥羽市水産研究所などの協力を得て、ワカメを育てる藻場再生に挑んでいます。総支配人は「これからも私たちにできることを発見して、地域の方々と交流しながら取り組んでいきたい」と話されていました。

従業員が自分で考え、気づく文化を広げる社内提案制度を導入

2020 年からは従業員が自分で考え、気づく文化を広げることを目的として社内に提案制度を導入し、“提案ボックス”を設置したところ年間 100 件以上の提案が集まり、これまで、その内の 4 割が採用されたそうです。

その一つに社員寮の入浴設備の改修があります。ある日、提案ボックスに寮に住む女性従業員からの提案書が入っていました。「寮には共同の入浴場が一つしかないため、先輩に遠慮して好きな時間に入浴することができない。好きな時間に入浴できるようにバスルームを増やしてほしい」という要望が書かれていました。そして、このことがきっかけで全ての個室にバスルームが設置され、福利厚生の実現が図られました。



フランス人国際交流員 カゾ・ポーリンの感想

私が最初に注目したのは、鳥羽国際ホテルがコロナの期間中の時間を大切に使い、持続可能な施策について考えているという点です。受動的に状況を受け止めるのではなく、コロナ禍をチャンスと捉えたことは、とてもパワフルなことだと思います。

昨年、私は SDGs アイデアコンテストの審査員を務めさせていただきましたのですが、発表されたアイデアの中で特に印象的だったのは、女性社員がジェンダーに関する意識を高める取り組みのアイデアを発表されたことです。具体的には、お客様の性別で浴衣のデザインを分けることなく統一することでジェンダー平等とコスト削減につなげるというものです。

SDGs は、日本では“環境”にやさしいプロジェクトだと思われがちですが、社会をより良くするためのものでもあります。そのほかにも、鳥羽国際ホテルではウォーターサーバーを設置し、ペットボトルの削減にトライされています。

総支配人からはこうした取り組みは長期的な投資として価値があるとお話しされていました。環境に配慮したプロジェクトを実施するにはコストがかかることもありますが、自然を大切に想う鳥羽国際ホテルの気持ちに溢れた行動だと感じました。

鳥羽市観光商工課 北橋亜由那の感想

私も昨年、SDGs アイデアコンテストの審査員を務めさせていただきましたが、新人従業員の発表を見守る先輩の温かい雰囲気にも包まれた素敵な会場でした。食品開発部門の従業員のかたによると、SDGs の取り組みをきっかけに商品開発や食材の発注時から余すことなく使うことを意識するようになり、余った食材を見ると、どうやって使うか考えることが癖になったとか。また、これまで関わりのなかった部署との交流が生まれたそうで素晴らしい効果が出ていると感じました。総支配人も、SDGs に取り組むようになって従業員の意識の変化を実感されているそうです。全ての従業員が自ら考え、チャレンジできる環境を整えることで良い循環が生まれているなんて素敵ですよ。

取材当日、総支配人は、「海女の愛ちゃんができること、弊社ができること、立場によってできることは違うので、今後はお客様や地域と一緒に SDGs に取り組んでいきたい。」と語ってくれたので、これからの取り組みが楽しみです。





「どうぞ、こちらでございます！」とセールス&マーケティング課マネージャーの濱岡佐代美さんが手を伸ばした先には、鳥羽らしい磯場がホテルの目の前にありました

海女の愛ちゃんの感想

SDGs の活動以外では、社員に会社を辞めたいと思わせない環境作りをしているというお話を伺ってとても感激しました。働く場所を提供し、全ての人が平等に意見を言えて、経営に参加する機会を与えていることは、まさに SDGs なのではないでしょうか。

特に社員からの提案制度は、自分のアイデアが採用されれば、会社、お客様に貢献でき、自己実現もできるので会社で働くことへのモチベーションにつながりますよね。また、鳥羽市水産研究所との連携や漂着海藻の活用、食品残渣を堆肥化する取り組みも素晴らしいですね。

志摩半島の海が変わりつつあり、海藻が減り伊勢海老やアワビが減っている現状を把握し、いち早く考え行動している姿勢に、一人の漁業者として本当に感謝の気持ちで一杯です。漁業者自らがもっと何かすべきことがあるのではないかと考えさせられました。そして今起きている現状を、良いことも悪いことも発信し続ける事の重要性も分かりました。「色々な立場の人がそれぞれ出来ることをすればいい。それが大きな力となって、未来を変えていく」という事も今回の取材から教えて頂きました。

鳥羽国際ホテル 潮路亭

三重県鳥羽市鳥羽 1-23-1
☎ 0599-26-5477



メンバー紹介

レポーター/写真
大野 愛子



東京都出身海女、フォトグラファー。先日、近くを通ったので、那智大滝にお参りに行きました。翌日は、なんと大大漁!! 有難い御利益を頂いたので、お礼参りにまた行きたいと思います。

レポーター
カゾ・ポーリン



鳥羽市観光商工課所属。先日、鳥羽にあるお気に入りのコーヒーショップにマイボトルを持参したら、お店の人が注いでくれて、しかも割引してくれたんです。お店の方の気持ちがとても嬉しかったです。

フランス語で
発信中!
Fantastique
Toba



レポーター
北橋 亜由那



鳥羽市観光商工課所属。6月にカゾと加茂小学校近くへホテルを見に行きました。満天の星空と沢山のホテルを見て、鳥羽にはまだ知らない素晴らしい場所があるのだと知り感動しました。

イラスト/デザイン
大西 絵里奈



松阪市在住イラストレーター。このメルマガのバックナンバーを読んだことがきっかけで海藻にハマりました。今は特に石鏡のふのりがお気に入りです。美肌&ダイエット効果に期待〜!!

